

## 令和2年度 第2回政策討論会第一分科会要点記録

|     |  |
|-----|--|
| 日時  | 令和2年8月7日（金）10時より                               |
| 場所  | 第1委員会室   |
| テーマ | 「町会加入者の減少問題について」                               |
| 出席者 | ◎倉田賢一郎 ○南加代子 中井良介 松本妙子 京西且哲<br>西田武史 烏野隆生 殿本マリ子 |

※◎座長○副座長

★事前にテーマの課題を抽出する為、座長・委員(1名)より提出して頂いた町会加入率の参考資料(自治振興課より)について討論を開始。

### (委員)

- ・町会加入率を上げるための取り組みも大事だが、町の役員が当たるのが嫌だと途中で退会する方もある。どのようにしたら、会員を続けてもらえるかを考えていくことも大切ではないか。
- ・広報きしわだが配布されない町会未加入の方に、役所から約400件郵送している現状に、ある町会からは、「そんなことをするからいつまでも町会には入ろうと思わないのでは。加入率向上の取り組みを町会任せにするのではなく、もっと役所も市民に町会加入するとこんなメリットがありますなどの啓発、広報活動を行うべき」とのご指摘がある。
- ・近年、災害時における町会・自治会の役割が重要視されている。地域で助け合えるような仕組みを構築していくべき。特にマンション・ハイツなど、自治会がない所は、近所付き合いなども希薄化。どのような対策を取れば、地域の和が広がっていくのかも考えるべき。

### (委員)

- ・地元地域では殆どの人が自治会に入会している。しかし、小さな集合住宅ではオーナーだけが入っているという場合が多く、その理由は集合住宅の住民は転出転入が激しいからだ。
- ・若い人達の間では自治会に入らなければいけないということを知らない人もいる。なぜ自治会に入会しなければならないかを若い人達に伝承していかなければならない。例えば、防犯灯の維持管理、公園・道路・側溝の清掃作業等

## 令和2年度 第2回政策討論会第一分科会要点記録

のように地域を守っていくには皆の協力が必要であるということを知ってもらわなければならないと思う。更に、町の生活環境を守っていくには費用も伴うものであり、一定の金額を自治会費として納めなければ維持管理ができないということを伝えていかなければならない。

- ・自治会の必要性のもう一つは、災害などで助け合うことと、1人暮らしの方や助けが必要な方を見守ること、地域でお互いが助け合って生活をするという本来の姿を忘れてはならない。

### (委員)

- ・町会加入の現状としては、少子高齢化に伴い年々減少の一途を辿っている事は、全国的な現象であり、新たに加入を増やす事は、非常に難しい課題である。
- ・昨今、毎年全国各地で発生している大規模自然災害において、自助・共助・公助の観点から見ても地域単位のコミュニティの拡大を図るべきである。
- ・各地域によっては温度差があるかもしれないが、大半は加入した場合のメリットが見えない、年会費が惜しい、役員をするのがいやであると言った理由により新規獲得が困難であると思われる。この様な悪循環により、年々各町会の運営状況も厳しくなる一方なので、何とか加入率アップの方策を考えたい。

### (委員)

- ・町会加入者の減少問題について、各町会役員の方が未加入者に対して、町会加入への努力をしている中で、行政が各町会に対して後押しができるような方法で進めていく。
- ・提案として、各町が未加入者への様々な課題を、連合町会の方に意見を聞くことも考えてはどうか

### (委員)

- ・町会加入者の減少によって発生している問題とは何なのか。  
本市の平均加入率は69.5%で、近隣市や人口同等市と比較して高い水準であるが、市内の町会・自治会の加入率には大きな格差があり問題である。  
町会・自治会の活動には、行政事務の受託業務と自主業務があるが、全て公共的な位置付けである。
- ・地域社会を支える活動を担う町会・自治会組織が縮小すれば、参画している住民にかかる負担が大きくなり、業務の遂行が停滞し市民生活に支障をきたす事が予想される。行政事務の受託業務については、市の事務事業と予算執行の見直しが必要と考える。町会・自治会の自主業務については、主な財源が会費収入のため事業の運営に与える影響が大きい。

## 令和2年度 第2回政策討論会第一分科会要点記録

- ・先ず、問題の解決に向けて町会・自治会に加入しない理由を知る必要がある。

### (委員)

- ・討論会の目的について、減り続けている現状から、「加入率の向上をめざす」としてはどうか。
- ・町会の現状は厳しいものだ。こども会がなくなったり、婦人会の活動も弱まっている。財政的にもゆとりがない。町会も悩んでいる。

### 【まとめ】

町会加入率の参考資料だけでは、実際の加入者率が見えにくいものとの意見が多くあった。また、加入者の世代によって偏りもあることが見受けられる。再度、課題として、何故、町会に加入すべきかその根本を見失うことなく、町民の意識それに伴う行政としてのあり方について討論すべきと考える。

※次回の討論会 9月23日 10時より

※町会加入者の減少問題に取り組む自治体の事例などがあれば提供を求めたい。